



きゅうしよくだより

令和2年 11月
宝立小中学校
1～6年用

11月は日本の暦で「霜月」といいます。霜が降るほどに寒い季節になったということから「霜月」と呼ぶようになりました。寒くなると、風邪をひきやすくなります。うがい、手洗いも大切ですが、バランスのよい食事と十分な睡眠も風邪予防に効果的です。もちろん新型コロナウイルス対策にもなるので、規則正しい食生活を心がけましょう。

こんげつ きゅうしよくもくひょう 今月の給食目標 感謝して食べよう

きちんと言っていますか？
「いただきます」
「ごちそうさま」



みなさんがいつも食べている食べ物はたくさんの人に支えられてできています。

食べ物が食べられることは当たり前ではないことを心にとめて感謝の気持ちで食事をしましょう。

みんなの食を支える人々



食べ物を作る人
【農家・漁師・酪農家など】

食べ物を運ぶ人
【運送会社の人など】

食べ物を売るお店の人
【スーパーマーケットの店員など】

調理をしてくれる人
【お家の人・給食調理員など】

「能登牛給食」がありました！

10月16日に石川県から「能登牛」が寄贈されました。等級はA5ランクで最上級の牛肉でした。脂の入り方や色が美しく、赤身は鮮やかな赤色をしていました。肉質はととても柔らかく、脂はほのかな甘みがあり、牛丼にコクを出してくれました。次回は2月に能登牛給食の予定です。どんな料理になるかお楽しみに！





給食だより

令和2年 11月
宝立小中学校
7~9年用

11月は日本の暦で「霜月」といいます。霜が降るほどに寒い季節になったということから「霜月」と呼ぶようになりました。寒くなると、風邪をひきやすくなります。うがい、手洗いも大切ですが、バランスのよい食事と十分な睡眠も風邪予防に効果的です。体調管理に気をつけて生活しましょう。

今月の給食目標 感謝して食べよう

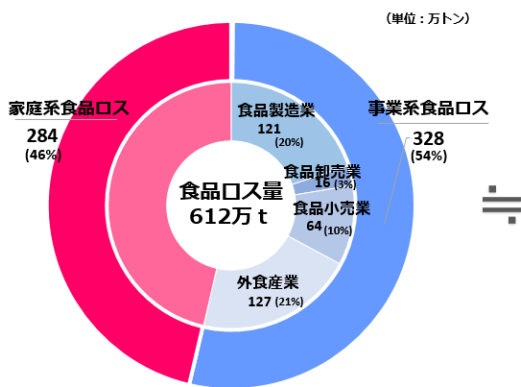
きちんと言っていますか？
「いただきます」
「ごちそうさま」



みなさんがいつも食べている食べ物はたくさんの人に支えられてできています。

食べ物が食べられることは当たり前ではないことを心にとめて感謝の気持ちで食事をしましょう。

考えてみよう「食品ロス」



国民1人当たり食品ロス量

1日 約132g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約48kg

※ 年間1人当たりの米の消費量(約54kg)に相当



資料：総務省人口推計(平成29年10月1日)
平成29年度食料需給表(確定値)

「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品をいいます

日本での食品ロスは年間 612 万 t になっています。これは日本人 1 人当たりが毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てているのと同じ量になります。

さらに、この 612 万 t という量は世界で飢餓に苦しむ人々を救うことのできる食料援助量の 1.6 倍もあるのです。私たちが食品ロスを減らすことで救える命があるかもしれませんね。



「能登牛給食」がありました！

10月16日に石川県から「能登牛」が寄贈されました。等級はA5ランクで最上級の牛肉でした。脂の入り方や色が美しく、赤身は鮮やかな赤色をしていました。肉質はとても柔らかく、脂はほのかな甘みがあり、牛丼にコクを出してくれました。次回は2月に能登牛給食の予定です。どんな料理になるかお楽しみに！

